

令和5年度 年末年始における 県内の主な温泉地及びスキー場の観光客数の状況について

1 調査期間

令和5年12月29日（金）から令和6年1月3日（水）まで（6日間）

2 結果概要

(1) 県内主要温泉地宿泊者数

	R5年度	R4年度	R4年度比	(参考)R元年度比
草津温泉	35,519人	33,879人	104.8%	68.3%
水上温泉郷	30,539人	26,015人	117.4%	74.8%
伊香保温泉	27,162人	23,895人	113.7%	83.1%
四万温泉	8,238人	7,862人	104.8%	79.0%
万座温泉	7,881人	6,876人	114.6%	75.8%
老神温泉	4,434人	3,739人	118.6%	82.7%
猿ヶ京温泉	3,770人	3,544人	106.4%	71.4%
磯部温泉	2,644人	2,871人	92.1%	83.0%
やぶ塚温泉	158人	132人	119.7%	17.5%(※)
計	120,345人	108,813人	110.6%	74.7%

※やぶ塚温泉における宿泊者数の主な減少要因は宿泊施設の休業によるもの。

(2) 県内スキー場地区別利用者数

	R5年度	R4年度	R4年度比	(参考)R元年度比
片品地区	41,879人	57,085人	73.4%	71.7%
吾妻地区	34,480人	46,979人	73.4%	64.7%
水上地区	26,650人	41,116人	64.8%	78.1%
その他地区(※)	21,263人	27,078人	78.5%	56.3%
計	124,272人	172,258人	72.1%	67.7%

※その他地区＝沼田市・川場村

3 概況

(1) 県内の主な温泉地の宿泊状況について（温泉地等への聞き取りによる）

- ・ほとんどの温泉地において、宿泊者数は昨年度を上回っており、終日ほぼ満室となった温泉地もあった。昨年度を上回る宿泊者数となった要因としては、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行となったことや、国の水際対策（入国制限等）の終了に伴う訪日外国人旅行者の増加が影響していると思われる。
- ・石川県能登地方を震源とする地震による公共交通機関の乱れによる予約のキャンセル（各温泉地で数件程度）や雪不足によるスキー客の予約のキャンセルがあったが、すぐに他の旅行者の予約で埋まるなど、影響は限定的であった。
- ・令和元年度よりも宿泊者数が下回っているのは、新型コロナウイルス等の影響による廃業や規模縮小、客室のリノベーション等により、収容可能人数が減っていることも影響していると考えられる。

(2) 県内スキー場利用状況について（スキー場への聞き取りによる）

- ・積雪不足によるスキー場のオープン延期や滑走可能コースの制限の影響により、利用者数が減少したと思われる。

※本調査は、対象市町村、観光協会等が温泉地の宿泊者数及びスキー場利用者数を調査し、県及び県観光物産国際協会が集計したもの。